

お客さまへ

ご使用前に、この「取扱説明書」を必ずお読みください。お読みになった後、大切に保存し、必要なときにお役立てください。

安全のために必ずお守りください



警告

誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの

禁止	器具の改造や指定部品以外の交換はしない。 (火災・感電・落下の原因)	禁止	器具のすき間や放熱穴に金属類を差し込まない。 (火災・感電の原因)
	器具やランプを布や紙などで覆わない。 (可燃物をかぶせて使うと火災の原因)		



注意

誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

禁止	お客さま自身で電気工事はしない。電気工事士などの資格が必要です。 (火災・感電の原因)	禁止	ランプは落としたり、(物を)ぶついたり、無理な力を加えない。 (ランプが破損してけがの原因)
	ランプに塗料などを塗らない。 (ランプが過熱・破損してけがの原因)		器具の直下や近くにストーブなどの熱器具を置かない。 (過熱して火災の原因)
禁止	スイッチの引きひもを強く引いたり、はじいたり、斜めに引かない。また、ランプにからませない。 (破損して落下の原因)	厳守	明るく安全にご使用いただくために半年に1回の保守・点検を行う。

インバータ器具の取扱い

- 赤外線リモコン方式のテレビ・ラジオなどは、照明器具から離してご使用ください。(雑音が入ったり、正常に作動しない場合があります。)
- 受信電波が弱い場合には、AMおよび短波放送では雑音が入る場合があります。
- 器具の近くでワイヤレスマイクを使用すると、雑音が入り正常に作動しない場合があります。
- 放送設備などの音声信号や映像信号は微弱なため、電源線や安定器の配線からの雑音を受けることがあります。

ランプ交換・器具の清掃



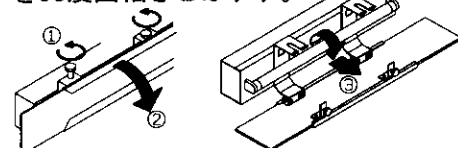
警告

電源スイッチを切ってから行う (感電の原因)

ランプ交換

適合ランプ FL20SS/18
適合非常用ランプ JE4.8V13W

- ①上部のつまみねじ(2ヶ所)を十分にゆるめる。
- ②カバーを手前に開く。
- ③ランプを90度回転させはずす。



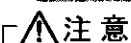
- ④ランプを納める際は①～③の逆動作をする。

清掃

- やわらかい布にぬるま湯または水をつけてよく絞ってふきとってください。

蛍光ランプは点滅回数が多いと短寿命になります

指定された適合ランプを使用してください。



注意

- 点灯中及び消灯直後のランプや器具には触らない (高温のためやけどの原因)
- ランプはソケットに確実に取付ける。
(取付けが不完全な場合落下の原因)
- 使用済みのランプは不用意に割らない
(ガラスが飛散してけがの原因)



警告

器具・ランプを水洗いしない (火災・感電の原因)

蓄電池の交換



警告

電源スイッチを切ってから行う (感電の原因)

適合蓄電池 4N25DA

蓄電池の交換は必ず当社指定の純正部品を使用してください。



警告

蓄電池はショート・分解・加熱・変形させない
また、火中に入れない(やけどや衣類損傷の原因)



この製品には、ニカド電池を使用しております。ニカド電池はリサイクル可能な貴重な資源です。ニカド電池の交換及びご使用済み製品の廃棄に際しては、ニカド電池を取り出し、リサイクルへご協力下さい。

定期点検

- 6ヶ月に1回、外観及び機能(非常点灯持続時間と切替動作)の点検を行う。[建築基準法施行規則第6条・消防庁告示第3号と第14号]
- 24(48)時間以上充電後、非常点灯持続時間が20(30)分以下となったら蓄電池を交換する。()内の数値は非常灯の場合
- 消防法では点検結果を所轄の消防署に報告することが義務づけられています。[消防法施行規則第31条]

異常時の処置



警告

煙が出たり、変な臭いがしたり、破損したなど異常を感じた場合はすぐに電源スイッチを切る。煙が出なくなるのを確認して、工事店または下記連絡先にご相談ください。(火災・感電の原因)

製品・お取り扱いなどのご相談は

『お客様相談室』

修理・アフターサービスのお問い合わせは

『サービスセンター』

ナビダイヤル (全国共通番号) **0570-055123**
受付時間: 9:00~17:30
※呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
FAX 072-986-5036
〒579-8025 大阪府東大阪市市町12-3

ナビダイヤル (全国共通番号) 電話 **0570-015123**
FAX **0570-025123**
受付時間: 9:00~17:30(年始2日を除く363日)
※呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。

●ナビダイヤルにかからない場合は、「お客様相談室」☎072-986-5081にお電話願います。
(所在地、電話番号が変更になる場合がありますので、予めご了承ください。) 2006年12月現在

コイズミ照明株式会社 〒541-0051 大阪市中央区備後町3-3-7

KOIZUMI コイズミ照明器具

E761Z848H22

保存用

デザイン形ブラケット (壁付専用形)

型番 **ARN968123**【蓄電池内蔵形】

取扱説明書

○この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できません。
○電源周波数50Hz、60Hz共用形ですから、日本全国どこでも使用できます。

施工者さまへ

○施工の前に、この「取扱説明書」を必ずお読みのうえ、正しく施工してください。
○取付工事の後、必ずお客さまにお渡しください。

安全のために必ず守ること

- 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、
△警告、△注意の表示で区分して説明しています。
表示の意味は表中で説明しています。

図記号の意味は次のとおりです。

禁止 絶対に行わないでください。 必ず指示に従い行ってください。



警告

誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの

禁止	引火する危険のある雰囲気では使わない。(ガソリン・可燃性スプレー・シンナー・ラッカー・可燃性粉じんのある所で使わない) (火災の原因)	禁止	電源線は器具の外郭に直接触れない。 (過熱して火災の原因)
	器具取付けの際は電線を挟まない。 (絶縁不良により感電・火災の原因)		
禁止	配線工事の際、電線の絶縁体にキズをつけない。 (絶縁破壊により感電・火災の原因)	厳守	施工は電気設備の技術基準・内線規程に従い行う。



注意

誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

禁止	高温 (35℃以上)、粉じん、油煙の多い場所、強い振動・衝撃のある場所では使わない。(落下・感電・火災の原因)	禁止	器具を密集して取付けない。(10cm以上離す) (器具の温度が高くなり火災の原因)
	さびの出やすい場所、腐食性ガスの出る場所では使わない。 (劣化による落下の原因)		表示された電源電圧以外では使わない。 (火災・感電の原因)
	器具は乾燥不十分なクロス貼り・コンクリート面には取付けない。 (絶縁不良やさびにより感電・落下の原因)		器具のノックアウトを外す場合はドライバー等により電線を傷つけない。 (絶縁不良により感電・火災の原因)
	風呂場など水や湿気の多い場所では使わない。 (火災・感電の原因)		狭い箱のような中で使わない。また、器具を隠して使う場合は、放熱を妨げない。 (器具が過熱して火災の原因)
禁止	雨水のかかる場所で使わない。 (水気・湿気が入り感電の原因)	禁止	調光用専用器具以外は調光させない。 (器具が過熱して火災の原因)

お願い

- 周囲温度は5~35℃の範囲でご使用ください。
- インバータ器具の場合は、電力線搬送を使用した機器と電源を共用すると、電力線搬送機器が正常に作動しない場合があります。
- 直射日光や、空調機器等の排気口・温風吹出口付近の取付けはお避けください。(蓄電池の寿命が低下することがあります。)
- この器具は壁面取付専用の器具です。床面及び天井でのご使用はできません。

照明器具の寿命について

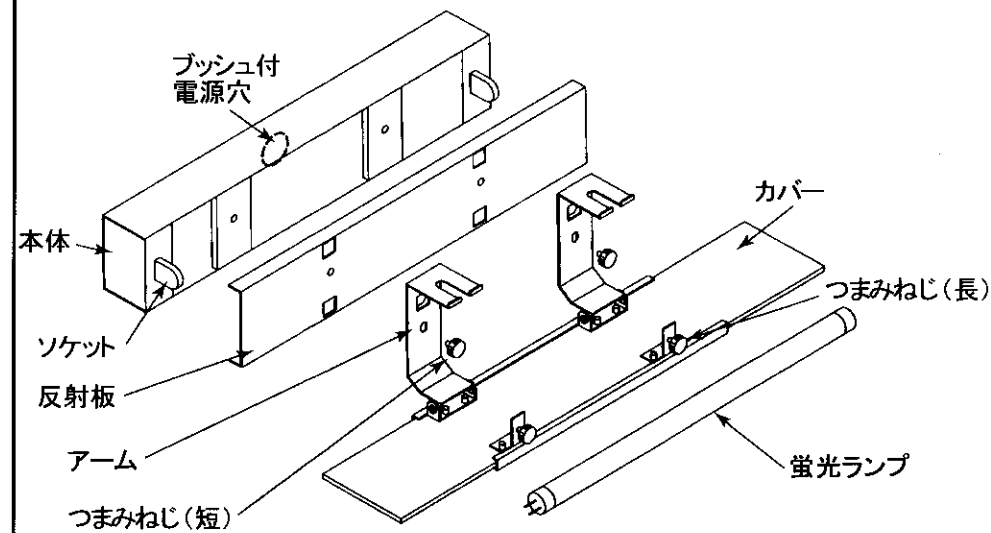
- 照明器具及び関連機器には寿命があります。設置して8~10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。点検・交換をおすすめします。(周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3000時間点灯の場合)
- 周囲温度が高い場合、点灯時間が長い場合は、寿命が短くなります。
- 3年に1回は、工事店などの専門家による点検をお受けください。点検せずに長期間使い続けると、まれに、発煙、発火、感電などに至る恐れがあります。

保証について

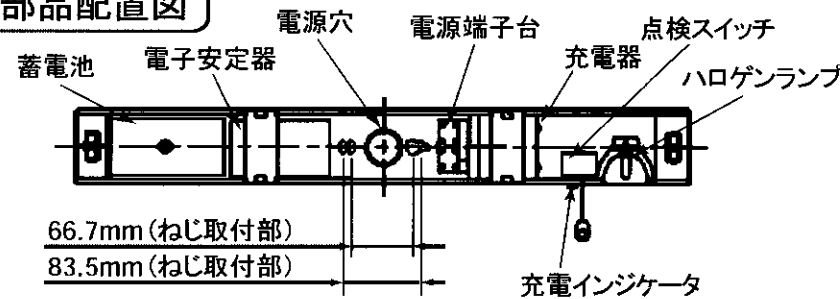
- 保証期間は商品お買上げ日より1年間です。ただし、蛍光灯器具内蔵の安定器は3年間です。ランプ、グロー点灯管、電池などの消耗品は対象外です。詳細は弊社カタログをご参照ください。

この説明書は、再生紙を使用しています。

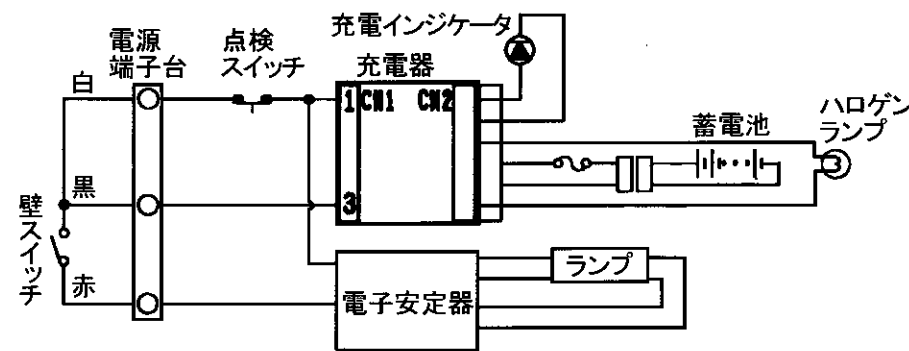
各部のなまえと取付けかた — **警告** 器具の取付けは取扱説明書に従い行う（不確実な取付けは、器具落下・感電・火災の原因）



部品配置図



接続図



定格

	平常時	非常時
使用ランプ	FL20SS/18×1	JE4.8V13W×1
定格電圧	100V	密閉形 Ni-Cd蓄電池 4.8V 2500mAh
入力電流	0.42A	
入力電力	26W	
定格周波数	50/60HZ	

1 取付前の確認

器具質量（2.8kg）に十分耐えるようねじ取付部の強度を確保する。

警告

器具の取付けは質量に耐える所に取付ける（落下の原因）

2 器具本体を取付ける

- (1) 電源線・アース線を器具本体のブッシュ付電源穴から引き込んでおく。
- (2) 本体を確実に取付ける。

警告

取付けが不完全な場合落下の原因

3 電源線を電源端子台に接続する

- (1) 電源線を電源端子台の差し込み穴に確実に差し込む。
- (2) アース線を差し込み穴に確実に差し込む。

<D種（第3種）接地工事が必要です>

- 電源端子台の容量は20Aです。
- 適合電線：φ1.6mm単線 φ2.0mm単線
- 電源線は専用回路にする。

★器具内での送り配線はできません。（反射板の固定が困難なため）

警告

送り配線は誘導灯及び非常用照明器具専用とし、容量を確認して接続する（容量を超えると電源端子台が過熱・損傷し火災の原因）

警告

電源の接続は適合太さの電源線を指定長さに被覆をむき、1本ずつ速結端子の奥まで差し込む（差し込み不十分は接触不良により火災・感電の原因）

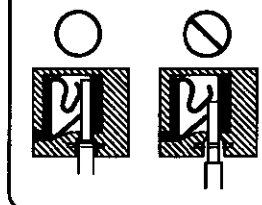
警告

接続が不完全な場合は、接続不良による発熱により火災の原因

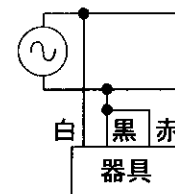
警告

アース工事は電気設備の技術基準に従い行う（アース工事が不完全な場合は感電・火災の原因）

接続状態

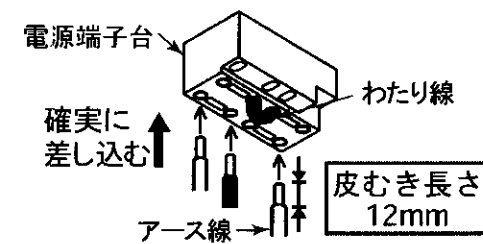


<単相2線2線引き・平常時消灯しない場合>

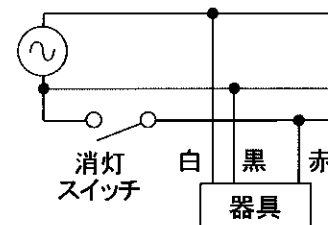


警告

分電盤と電源端子台の間には消灯スイッチを設けない



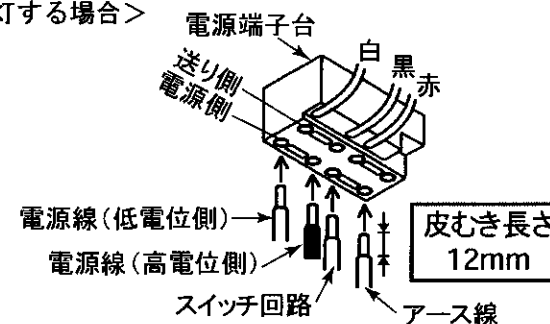
<単相2線3線引き・平常時消灯する場合>



・電源端子台のわたり線ははずす。

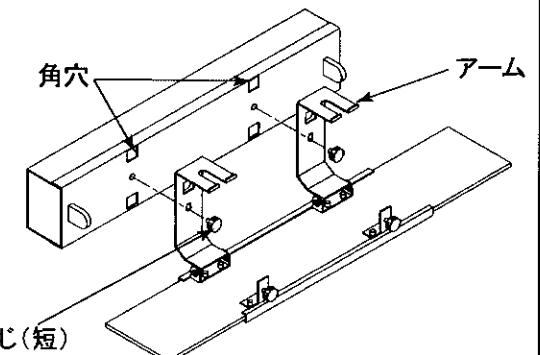
- 通電後、蓄電池のコネクタを接続してください。通電しないで蓄電池のコネクタを接続したまま放置すると、蓄電池が過放電します。
- 使用開始まで時間がある場合は、消灯するまで放電させた後、蓄電池のコネクタを外してください。
- 電源線接続の速結端子の電源線を取り外すときは、幅6mmのマイナスドライバを、はずし穴にまっすぐに差し込んでください。

■平常時消灯する場合は所轄の消防署の了解を得る必要があります。



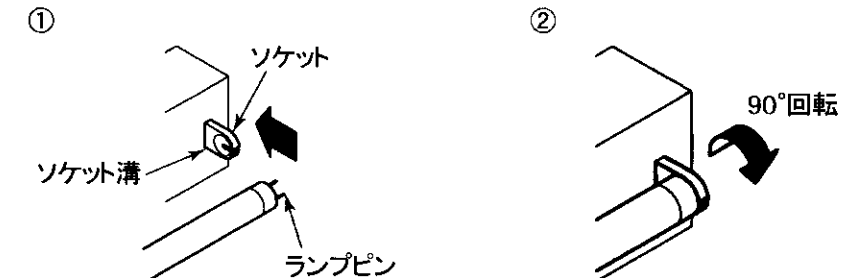
4 反射板を取付ける

- (1) 反射板を本体にかぶせる。
- (2) アームを本体の角穴に引っ掛け、つまみねじ（短）で共締めする。（2ヶ所）



5 ランプを確実に取付ける

ランプピンをソケットに差し込み、90°回転させランプを確実に装着する。

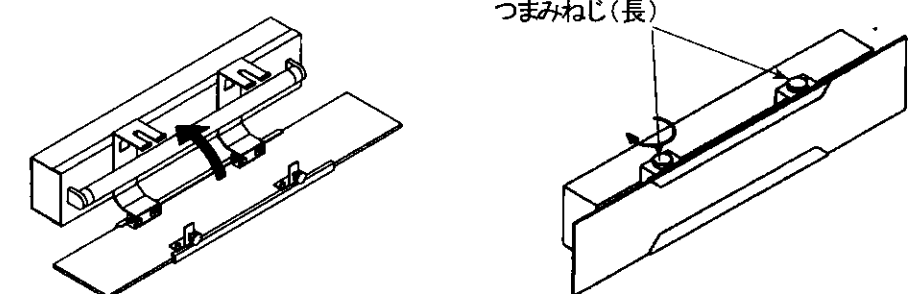


注意

取付けが不完全な場合落下の原因

6 カバーをしめる

カバーを閉め、つまみねじ（長）（2ヶ所）を締める。



注意

取付けが不完全な場合落下の原因

7 点灯検査

次の点灯状態を確認して万一点灯しない場合、下記項目をチェックしてください。

(1) 通常点灯しない場合

- ・ランプはソケットに固定されていますか。
- ・誤配線をしていませんか。
- ・電源電圧は定格どおりですか。

(2) 非常点灯しない場合

- ・蓄電池とインバータのコネクタははずれていませんか。
- ・蓄電池のヒューズは溶断していませんか。
- ・蓄電池は24(48)時間以上充電してありますか。()内の数値は非常灯の場合

(3) 充電インジケータ（緑色の表示ランプ）が点灯しない場合

- ・電源は通電されていますか。
- ・蓄電池と非常灯ユニットのコネクタははずれていませんか。
- ・蓄電池、非常灯ユニットのヒューズは溶断していませんか。